

NPO法人ハーベスト第Ⅲ期（２０１５～２０１７）中期事業計画について

２００９年に設立されたNPO法人ハーベストは、設立から７期目を迎えました。

これまで多くの会員・市民講師の皆様力を借りて、「キャリア教育を通じた大人と若者の学び合い」の場づくりに取組み、キャリアセミナーは、これまでに県内の３０を超える高校（県下の高校の約１／３以上）に導入されてきました。また、ここ数年は大学生や若者向けにスイッチみらい発見塾を展開し、学校以外にも学び合いの場を拡げております。

この結果、毎年ほぼ１万人ちかくの中高生にプログラムを提供してきており、キャリア教育・進路指導のプログラムとして必要不可欠な存在となっている学校も少なくありません。

多数のボランティア講師を巻き込みながら、特定のキャリア教育プログラムを、３０校を超える規模で継続的にコーディネートしている団体は稀であり、全国でもユニークな存在のキャリア教育のコーディネート団体として認知されており、他県からの視察や取材を受ける機会も着実に増加してきております。

<第Ⅱ期中期事業計画の総括>

２０１４年度末で第Ⅱ期中期事業計画期間は終了しましたが、この期間中は、キャリアセミナーの運営体制に関しては県からの緊急雇用創出事業に基づく委託事業を継続的に受託することにより、最盛期には１８名の常勤スタッフを抱え、年間５０回以上の中学・高校キャリアセミナーをはじめ街中での職業観と主体性涵養に向けたイベントを定期的に開催することができました。

こうした機会に恵まれ、市民講師の確保からキャリアセミナーや各種の教育イベントの実施に至る業務については着実にシステム化が進めることができ、限られた人数でも着実に業務を推進できるノウハウおよび人材を育成することができたとともに、その成果であるマニュアルやツール類を県内外の教育委員会や学校に積極的に提供しているところです。

一方で、中期計画においての大きな目標であった、事業および団体の継続的な運営基盤づくりを目指して設定したサポーター・会員数や会費や寄付などの独自財源の確保にむけた定量目標については、各種事業の実施に追われ財源確保に向けた活動に十分な人員を割けなかった結果、ほとんど未達となりました。

結果として、行政からの委託事業に依存した運営体制からの脱却は果たせず、次期計画へ課題を積み残した形となりました。

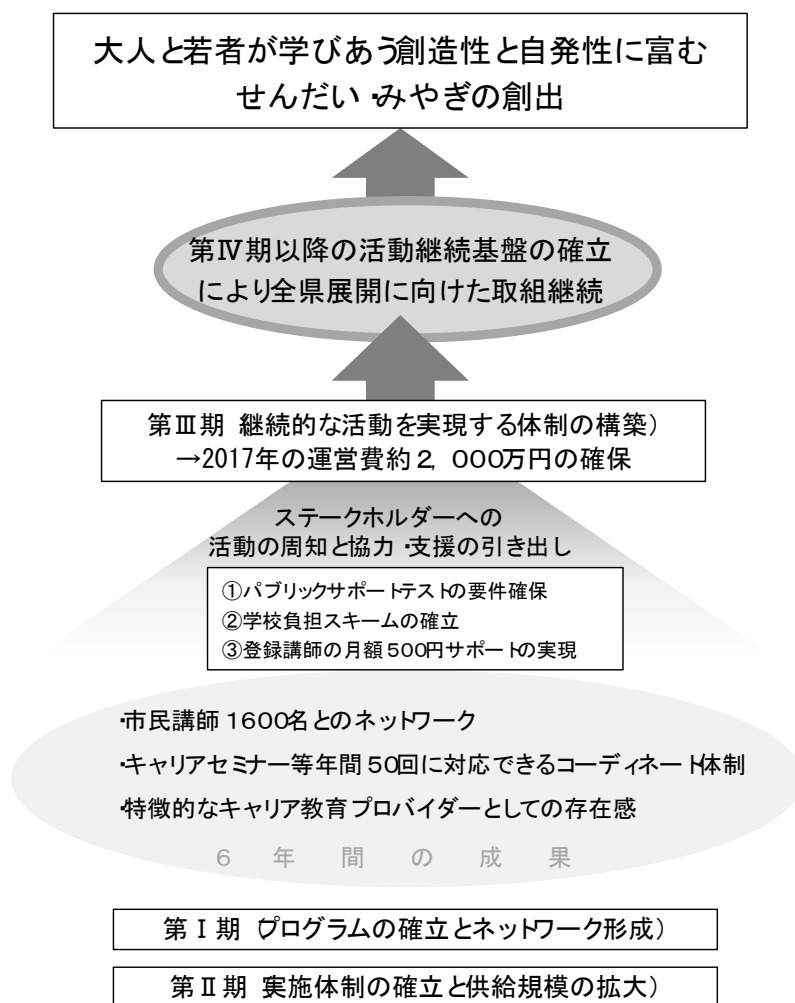
<第Ⅲ期中期事業計画の概要>

このような第Ⅱ期中期事業計画の総括を踏まえ、今年度からの第Ⅲ期中期計画においては、一定のシステムとして確立されたキャリア教育プログラムとしての中学・高校キャリアセミナーや、大学生向けのスイッチみらい発見塾等の事業を確実に提供し続ける事業継続性の確保を３年間の主目標として位置づけることとします。

ハーベストのミッションとして、キャリアセミナー等のプログラムを県内の高校において標準化することを目指していますが、実施校の量的拡大については県下の高校の１／３という一定の水準まで達したことを踏まえ、第Ⅲ期は、標準化の達成を見据えた事業継続性確保を第一義とし、実施校数については、現状維持もしくは事業継続に向けた取組みに人的資源を配分できるレベルまでに実施校を縮小することも考慮することとします。

これまで培ってきた実施校の先生方や同窓会・PTA、市民講師や講師派遣をいただいている協力企業・団体との関係強化に向けた取組を最優先の課題とし、ハーベストが提供するキャリア教育プログラムの普遍性や重要性について認識を深め、これらのプログラムの継続的な実施を可能とする仕組みづくりの構築を向けて関係者との協議に注力し、認定NPOとしての資格取得や協力企業・団体の確保に取り組んでいきます。

また、運営体制についても各種の経費の節減に努めるとともに、可能な限りこれまでのスタッフの雇用を維持し、限られた人員でキャリアセミナー等を効果的に実施してきたノウハウの蓄積を引き続き図っていくほか、ハーベストとの運営にインターンの受入や有償ボランティアとしての学生職員の活用を図り、組織面及び大学生とのネットワークの強化を図っていきます。



<重点的な取組及び目標>

第Ⅲ期の事業期間のうち、2015年度～2016年度については、県の委託事業の受託および内部留保等によって一定の活動財源は確保されていることから、3年目となる2017年度までに事業継続にむけたシステムを完成させることを目標としていきます。

この実現のために3つの取り組みに注力していきます。まず第一に認定NPO移行へのパブリックサポートテスト（@3,000円以上×100名以上）に対しての協力とキャリアセミナーの標準化に向けた体制づくりに向けた協力要請という形で教育委員会、各学校、高P連、各校の同窓会、大学や商工団体他各種経済団体や社会教育施設等への働きかけを着実に実施していきます。

第二としては、これまでキャリアセミナーの実質的な財源となってきた緊急雇用創出事業の終了を契機として、実施校および受講生の保護者向けにに対してキャリアセミナー運営費の負担のあり方について問題提起を行いキャリアセミナーの運営企画料の値上げを段階的に実施していきます。（現行の約10万円から当面20万円程度へ）

第三として、登録された市民講師に対してキャリアセミナー維持に向けたサポート呼びかけを実施していきます。

これらの取組みの3年間の定量目標として、①のパブリックサポートテストに関連して、毎年3,000円以上の寄付者の100名以上の確保、③の登録講師へのサポート呼びかけについては、月500円×1,000名の達成を実現することとなりますので、それに向けた具体的なアクションプランを毎年実施していくこととします。

計画倒れに終わった第Ⅱ期の反省を踏まえ、各役員および中核スタッフの具体的なスケジュールに落とし込み進行管理を徹底するとともに、市民講師や一般市民、各受講生の保護者に対する協力要請等についても2年間に渡り計画的に実施していくこととします。

このほか、キャリアセミナーの事前・事後授業の充実や効果測定体制の確立、スイッチみらい塾の定期開催ほか、キャリア教育コーディネーター育成等のキャリア教育プログラム自体の質的な向上を目指す取組みについても当然ながら実施していきます。

2015年度活動方針

○キャリアセミナーの実施については報告事項第1号（資料 No39_1）のとおり

○中期計画における各種の取組みについては、2015年度（平成27年度）以下の事業を実施していきます。

取組① パブリックサポートテストを契機とした関係団体への支援要請

- 教育委員会との平成28年度以降の実施体制にむけての協議
 - ・30校近くの公立高校において進路指導のコンテンツとして活用されている事業の継続について
 - 緊急雇用創出事業の事業スキームを引き継ぐ事業可能性の検討（6月～8月）
- 各種経済団体・社会教育施設等への支援要請活動
 - ・キャリアセミナー閑散期を中心に計画的な啓蒙活動協力要請の実施（7月～9月）
- 各校PTA・同窓会に対する支援要請活動
 - ・キャリアセミナー打ち合わせの際に学校側に許可・アポイントを依頼した上で実施（随時）

取組② 学校負担スキームの確立

- キャリアセミナー打ち合わせの場において平成29年度以降の費用負担のあり方についての協議開始
 - ・今年度は、値上げの実現性について打診し各学校の意向を調査を実施（各校打合せ時）

取組③ 登録講師へのサポート呼びかけ

- キャリアセミナーの継続向けてのハーベストの取組みを紹介し協力要請を電話・訪問により実施
（7月～9月を強化月間・そのほか重点週間の四半期毎に設定実施）

キャリア教育プログラムの質的向上

- キャリアセミナーの事前・事後授業の開発からキャリア教育・進路指導全体をパッケージしたプログラムの開発及び有償提供化の検討
 - ・中山常務理事が担当の学院大におけるキャリア開発の授業をベースに私立や専門学校向けのパッケージ化を検討（8月～11月）
- キャリア教育コーディネーター育成講座の実施
 - ・東北地区での関心が高まりつつあることから、コーディネーターの育成の場の提供を再開
- スイッチみらい発見塾の独自開催
 - ・ハーベスト事務所の空きスペースを活用し、大学生・若年求職者向けのセミナーを定期開催
- ラジオ「スイッチみらい発見塾」の再開
 - ・事務所収録を基本として再開